

令和2年12月吉日

県教育庁島尻教育事務所長
市町村教育委員会教育長
域内公立小学校長
教育関係各位
殿

南部広域行政組合島尻教育研究所
所長 宮城 末義
(公印省略)

令和2年度第1回島尻教育研究所教育講演会



プログラミング教育が必須化されたものの、
「PCすら苦手なのに、プログラミングを子どもたちに
教えるなんてどうしたらいいの！」
「そもそも何をすればよいか、何が目的なのか、よく
分からない！」
と不安を抱えている先生方へ

「放課後アフタースクール」プログラミング研修会 × Web会議システム

池上彰氏の番組で特集された
教員向けプログラミング研修

文部科学省ホームページでも
後援団体として紹介されています

特定非営利活動法人 放課後NPOアフタースクール

教員向け「プログラミングの旅」

御案内

時下、貴殿においては、ますます御健勝のこととお喜び申し上げます。

コンピュータに関する学習では、①操作、②プログラミング、③情報モラルの3つの要素が重視されます。なかでもプログラミングについては、これまで、問題解決の手順をチャートで表しながら「プログラミング的思考」を学ぶなど、手探りで授業を行っている状況であったと推察されます。

しかし、文部科学省より「GIGAスクール構想」が打ち出されたことを受け、タブレット端末を一人一台配布するなど、ICT環境整備が急速に進められています。学校現場からは、「これからは、端末を活用して本格的なプログラミングの授業ができる」との声があり、研修ニーズが高まっております。

そこで、今回の教育講演会は、特定非営利活動法人 **放課後NPOアフタースクール** 様の御協力により、教員向けプログラミング研修を実施することといたします。

ついては、右の要領で開催しますので、公務多忙の折とは存じますが、ぜひ御参加頂きますよう御案内申し上げます。

1 ねらい プログラミング等の体験を通して、論理的思考力を身に付ける学習活動を各教科等の特質に応じて計画し、実施できるようにする。

2 主な内容
 STEAM教育や学校教育における「プログラミング的思考」について伝える
 「プログラミングの旅for student」「プログラミングの旅for teacher」を紹介！&体験
 プログラミング的思考を活用した授業案を作成、共有

2 期 日 令和3年1月28日(木) 15:30~17:00 Web会議接続…15:00~

3 講 師 特定非営利活動法人 放課後NPOアフタースクール

ソーシャルデザインチーム **逆井 菜摘** (さかさい なつみ)

4 実施方法 Zoom会議によるオンライン参加 (各学校の端末から入室してください)

5 参加条件 【参加】 各学校等からのオンライン参加は、1アカウントまでとします。 校内研修など大人数で参観したい場合は、スクリーンに投影するなど工夫してください
【環境】 参加者は、自身でPCとインターネット環境を準備し、指定のWeb会議 (Zoom) に接続すること
Google Classroom、Jamboardを使用するため、Googleアカウントでログインできるようにしておくこと

6 日 程

15:00	15:30	15:05	16:55	17:00
開室操作 (30)	開会行事 (5)	講 義 (開会・閉会行事を合わせて90分)	閉会行事 (5)	片付け等

7 申し込み

参加申込 … 別紙の申込書に必要事項を書き込み、下記担当宛メールで送信してください。

締切 … 12月18日(金)

申 込 先 … 南部広域行政組合 主任指導主事 高木 眞治

※ 下のアドレスにメールで提出してください。

takakish@nanbukouiki-okinawa.jp

8 備 考

申し込み様式は、島尻教育研究所ホームページからダウンロードできます。

申し込みいただいたメールアドレスに、参加に必要な「ZOOM URL」等を送ります。

<この件についての問い合わせ>
南部広域行政組合島尻教育研究所
主任指導主事 高木 眞治 (たかきしんじ)
TEL: 098-998-9561 FAX: 098-998-9420
E-mail: takakish@nanbukouiki-okinawa.jp